



ビアフェスタ・会員レター

第 65 号



地獄谷



日和山



クッタラ湖



●ビアフェスタ会員の皆様へ

一雨ごとに暖かくなりましたが、いかがお過ごしですか？

いつもビアフェスタをご利用くださいまして誠にありがとうございます。
運営者一同心からお礼申し上げます。

今月のビールは北海道登別市 わかさいも本舗様よりご提供いただきます「プレミアムビール鬼伝説」をお送り致します。

さて、プレミアムビール鬼伝説が製造されている北海道登別市は、北海道の太平洋岸に位置する市である。市の北東部に観光地として登別温泉、カルルス温泉を擁します。9種類もの温泉が湧き出す日本有数の温泉郷として、質・人気ともに非常に高く、観光専門誌の調査で「日本一」にランクされたこともあります。周りにもたくさんの観光スポットが存在し、地獄谷、活火山でもある日和山、クッタラ湖など自然や、のぼりべつクマ牧場、登別伊達時代村、登別マリノパークニクス、スキー場などテーマスポットもあり、四季を通して楽しめます。

8月の最終土・日曜、年に一度「地獄の釜のふた」が開き、閻魔大王が赤鬼と青鬼を従えて温泉街へ現れ、「前触れ太鼓」や重さ1トンにもなる「鬼みこし」や、「閻魔大王のからくり山車」を中心とした「地獄大行列」「鬼踊り大群舞」など、鬼たちが賑やかに登場します。

最寄りの新千歳空港へは、東京大阪、名古屋、福岡、沖縄などの各主要都市より JAL、ANA、SKY、AIR DO が運航しており、アクセス良く是非夏休みの予定にどうでしょう？

さてここで当ファン倶楽部「ビアフェスタ」のご紹介をさせていただきます。ビアフェスタは毎月一度、ファン投票をもとに選ばれた地ビールを

- (1) 計画生産ゆえにできたて一番蔵出しを
 - (2) 計画配送で美味しいチルド配送によって
 - (3) 管理費用の低減で実現した割安料金で
- 味わうためのメンバーズ倶楽部です。

世界中の料理文化が繚乱と花咲いている日本で、いつも「とりあえずのビール」ではさびしくありませんか？

我々が会員の皆様にお伝えしたいものそれは、せめて週末ぐらいは自分へのご褒美を・・・ビールジョッキで豪快に飲むビールではなくて、グラスでまったり味わう地ビールで、過ぎし日の一週間をゆっくりと振り返る、若しくはこれからの楽しい一週間に思いをはせる、なんてとっても素敵だと思いませんか？

サポートスタッフ一同頑張りますので是非応援してください。日本のビール文化をさらに充実させていきましょう。どうかこれからも長いお付き合いをいただけますよう宜しくお願い申し上げます。

季節の変わり目なのでくれぐれもご自愛ください。

地ビールファン倶楽部「ビアフェスタ」一同より。

平成 24 年 3 日 吉日

●今月のビールのご紹介

北海道登別市より「プレミアムビール鬼伝説」をお送り致します。

全国的にも有名な北海道登別温泉の麓で作られる登別の地ビール。登別の美味しい水と厳選した麦芽やホップ等の原材料を使用し、ろ過や熱処理を一切行わず素材の特徴を生かした、こだわりの製法で作られたビールです。近年は、地元の素材等を使用した限定ビールにも着手しており、多種多様な美味しさを更に追求しています。

お届けするビール

■青鬼ピルスナー

チェコのピルゼン地方で生まれたピルスナータイプ、世界中に最も普及しているビール。一般的なビールに近い味わい。引き締まるホップの苦味で、すっきり飲みやすく仕上げています。

アルコール度数 5.0%

2008年インターナショナル・ビア・コンペティション(国際ビール大賞) ヨーロピアンピルスナー部門 金賞

■赤鬼レッドエール

イギリスの伝統的なビールを基本に日本人向けにアレンジ・醸造した、黒ビールに近い味わいのビール。苦味が少なく、赤みを帯び、ほんのり甘くフルーティーな香りとローストモルトの香ばしい芳醇な味が特徴です。地ビールらしい地ビールですが、一般的なビールを好む方でも飲み易く仕上げております。

アルコール度数 5.0%

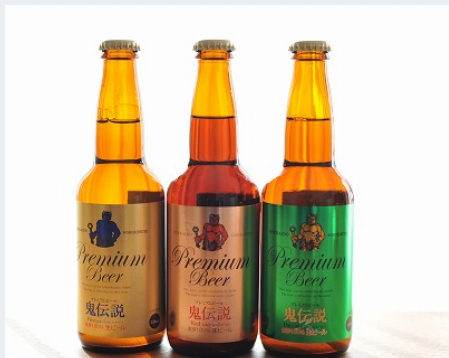
2003年・2004年 全国酒類コンクール ビール部門 2年連続 第1位 優勝

■金鬼ペールエール

アメリカ産のホップをふんだんに使い、柑橘系のフルーティーで華やかな香りと、シャープな苦味が特徴の黄金色のビールです。バッチごとにアロマに使うメインホップを変えて仕様を変えています。

アルコール度数 5.0%

2008年・2010年インターナショナル・ビア・コンペティション(国際ビール大賞)アメリカンペールエール部門 金賞



プレミアムビール鬼伝説

●来月のビールのご紹介

上馬ビールは、厳格なドイツの BCS OKO-GARANTIE 認定の有機無農薬麦芽と同じくドイツの ABCert 認定の有機ホップを100%使用し、養老名水で仕込み、日本国内はもちろん世界的にみても数少ないオーガニックビールです。

弊社にとって、「有機無農薬麦芽 100%」・「有機ホップ 100%」で、ビール造りを行うことは、特別なことではなく、それが「上馬ビール」のスタンダードです。

今回は 330ml×6本 (ヘレスとデュンケルの二種類)をお届けいたします。



上馬ビール



天満宮

編集後記

3月4日の日曜日に家内一人とワンちゃん2人(我が家は犬ちゃんを人扱いするので「一匹」と言わず「一人」と呼ぶのです)を連れて東京「湯島の天満宮」に梅を観に行ってきました。テレビで3月上旬が見ごろで「梅祭り」開催中という放送があったからです。そうです、かの有名な「学問の神様」で、昔、子供の受験の頃は毎年のように通ったのですが、今はご無沙汰していたので来年の長女の国家試験の合格祈念も兼ねて行くことにしたのでした。ところが残念ながら梅はまだ3分咲きくらいの状態で例年より2週間くらい遅いそうでした。「やっぱり今年は寒かったんだ～」と実感した瞬間でした。甘酒とたこ焼きで寒さをしのぎましたが、それでも可憐に咲く梅の花の姿には心洗われる思いがしました。自分の年と共に桜の華やかさより梅のしとやかさに惹かれる自分がおります。そういえば10数年前、息子の中学受験で何とか第4志望に潜り込むことが出来たことでお礼参りに来た時に見た梅は力強く絢爛な感じがしたのです。その息子も27歳となり獣医さん2年目を迎えました。天満宮に感謝。(さ)

毎年3月のお楽しみは、幕張メッセで行なわれる Foodex(国際食品・飲料展)です。Foodex は地ビールの盛り上がりで食品と飲料に分かれた時期がありまして、ビールの関係者として関わって以来ずっと、食ビジネスの最前線を知る貴重な機会として足を運ばせてもらっています。以前はこじんまりまとまっていた外国ブースも、今や幕張メッセの半分以上を外国企業が占めるに至り急速なグローバル化を実感できます。四小龍(韓国、台湾、香港、シンガポール)はどんどん身近になって来ていますし、今年は特にアセアン諸国からの出展者にエネルギーを感じました。ビールについては、国内企業も外国企業も特別なものでなくなっていました。かつてはビール特設ブースを設けたり、ブース正面の目立つところでイベントとして試飲させる出展者が多かったのですが、今年は他の食品の中に埋没していることが多くて派手さはありませんが、それだけに日本人が多様なビール文化に慣れ日常化してきた証のようにも思いました。目立たないけれども数多くの初お目見えビールに出会うことができ、1日かけてしっかり味わうことができました。(わ)

以前から視力が落ちて気になっていたのが精密検査を受けた結果白内障とわかり、今月手術をおこなった。手術は簡単だったが、その後の約2週間がつかかった。入浴、飲酒、運動もだめ、PCを見るのもだめ。特にビールが飲めないのはやはり辛い。本日眼帯を外し、視力の回復具合を確かめることになるが、はたしてビールの色や泡がどのように見えるのか楽しみであります。(い)

先日、わが家に待望の長男が誕生しました。初めての子で生まれて半月が経ちましたが、ようやく自分の子供だと実感が沸いてきました。いや～、親ばかという言葉が存在する気持ちがようやく理解しました。寝ている姿、泣いている姿、全てがかわいいです。この子が20歳になれば一緒にお酒を飲めるようになりますね。楽しみです。それまでは親として責任を持って育てないといけません。この子が生まれて最近良く思いますが、うちの親も自分が生まれた時は同じ気持ちだったんだろう。親がどう思って育てたか分からないけど、今まで育ててくれた親に感謝したいと思います。今度帰郷した時には、お酒を飲みながら子供のこと、自分が小さかった時の話でもしてみようかな。(く)